

市町村名	北大東村						
令和5年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	緊急車両(消防車)導入事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(4)-ア あらゆるリスクに対応する安全・ 安心な島づくり		
担当部署名	総務課	事業実施 (予定)年度	令和3年度～令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(3)		
事業内容	災害時の被害抑制など防災体制の強化を図るため、緊急車両(消防車)を導入し、地域住民の安全・安心な環境整備を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R6年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R5年度	R5年度(繰越)	年度	年度	年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	51,347				
		(b)予算現額	50,160				
		(c)増減額(b-a)	▲1,187	0	0	0	0
		(d)繰越額	0	50,160			
	A. 計(b+d)		50,160	50,160	0	0	0
	B. 執行済額		0	50,160			
	うち交付金充当額		0	40,128			
	次年度繰越額		50,160	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		不用額1,187千円については、入札残によるものである。 緊急車両(消防車)に用いる部品の製造・納品ができず、不測の日数を要したため50,160千円を令和6年度に繰越した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	緊急車両(消防車)の導入	目標	救急車両導入	救急車両導入			
		実績	繰越	救急車両導入			
		目標					
		実績					
達成状況説明	緊急車両(消防車)に用いる部品の製造・納品ができず、不測の日数を要したため業務工程に影響が生じ、繰越して令和6年5月に緊急車両(消防車)の導入が完了した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)
	緊急車両(消防車)の導入	目標	( )	( 緊急車両導入 )	( 緊急車両導入 )	( )	( )
		実績	/	繰越	緊急車両導入	/	/
	【R6成果目標】 ・消防訓練の実施 6回	目標	( )	( )	( 訓練6回実施 )	( )	( )
		実績	/	/	訓練6回実施	/	/
	進捗状況説明	救急車両(消防車)を導入することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	地域の防災体制の強化を目的に消防車の導入にあたっては、消防団等と協議を重ね、実運用に即した仕様決定を行い導入した。	今後は防災訓練を地域住民も共に行い、消防団・行政・住民の三者連携を高め、地域の防災意識の向上を図っていく事が必要である。
今後の取り組み方針		
消防団・地域住民との連携を強化し、導入した消防車を活用した防災訓練や広報活動等に取り組むことで、防災力の底上げを目指す。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	50,160	50,160	40,128	10,032	0
<pre> graph LR     A[北大東村 50,160千円] --&gt; B[委託料 50,160千円]     B --&gt; C["(株)オカノ 50,160千円"]     C --- D["緊急車両(消防車)建造委託"]           </pre>					

資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は一般競争入札により適正に選定しており、妥当であった。 ○予算規模については適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	